

# 令和6年度 富士見市



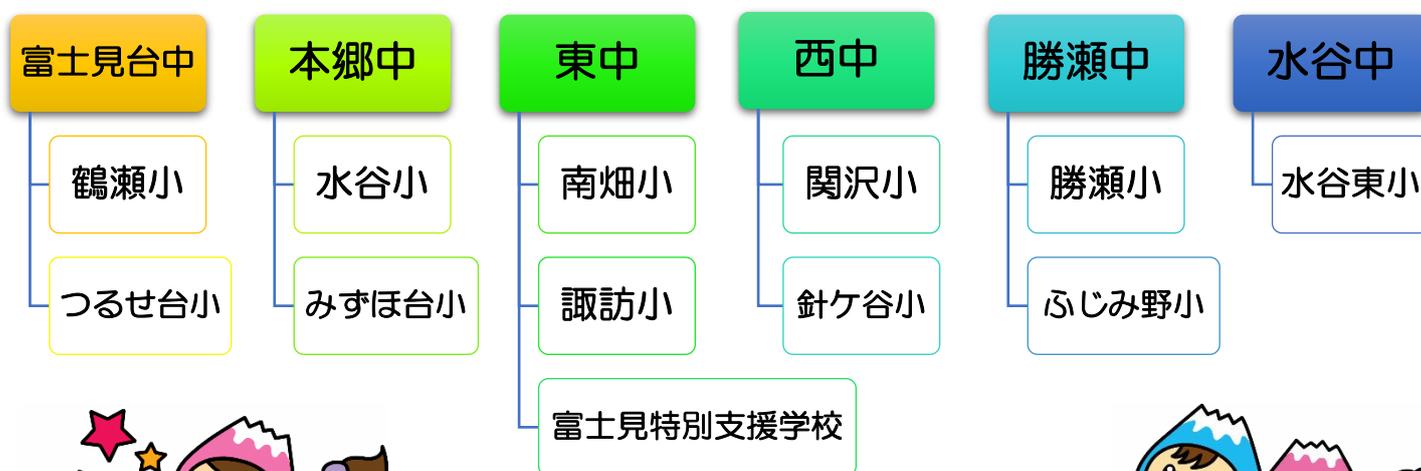
## 小中一貫教育の取組

○富士見市が目指す小中一貫教育とは・・・

- ・6つの中学校区を単位として、既存の校舎を活用した施設分離型で取組を推進します
- ・義務教育9年間を見通した系統性・継続性のある教育を行います
- ・小中学校教員間が細やかに連携することで、中学校進学時の不安を解消し、不登校児童・生徒の減少を目指します

『学び合い 人がつながり  
一人ひとりが輝く 富士見の教育』の実現

### 【富士見市の中学校区】



# ★富士見台中学校区★

## [令和6年度までの取組]

今年度、「小中合唱交流会」を鶴瀬小学校とつるせ台小学校の6年生を富士見台中学校に招待して実施しました。また、中学校の生徒会、部活動単位で小学校を訪問し「あいさつ運動」を実施し交流の輪を広げることができました。

今まで取り組んできた国語科の「話すこと・聞くこと」のカリキュラムをベースに、授業だけでなく、特別活動や道徳の時間を含めた学校の教育活動全体において展開することで、児童・生徒の実践力が高まっていると感じています。



11月1日（金）、3限、「小中合唱交流会」  
富士見台中学校3年1組合唱「青い鳥」

## [令和7年度に向けて]

児童生徒間の交流の更なる活性化を図るため、引き続きあいさつ運動など、生徒会と児童会、部活動などでの関わりをもちます。また、9年間を見通した特別支援教育の充実のために、授業参観、ボランティア体験など、小・中学校の特別支援学級で交流を推進します。

また、小学校のICT活用、学級会、中学校の生徒指導等、教職員間の情報共有を行い、いわゆる「中1ギャップ」の減少を図ります。



12月5日（木）・6日（金）、朝、中学生と小学生合同による「あいさつ運動」

# ★本郷中学校区★

## [令和6年度までの取組]

本郷中学校区では、小学校6年生に向けた新入生説明会で、本郷中学校生徒会役員が中学校の1年間について説明をしました。また、本郷中学校のネットトラブルゼロ委員会ではネットトラブル新聞を本郷中学校区の小学校にも配付し、小中で連携しながら情報モラルの育成に取り組みました。特別支援学級の交流会では本郷中学校と水谷小学校で七夕まつりを、本郷中学校とみずほ台小学校でクリスマス会を実施しました。

## [令和7年度に向けて]

令和7年度は、ネットトラブルゼロ委員会の活動から、引き続き小中学校の系統的な情報モラルの取り組みを進めていきます。また、合唱などを小中学校の委員会同士で連携していくことを検討していきます。特別支援学級の交流を行い、内容や回数についても検討していきます。



新入生説明会で本郷中学校の生徒会本部役員が水谷小、みずほ台小の6年生に中学校の1年間の様子を説明しています



水谷小と本郷中学校の特別支援学級の児童生徒が交流し、七夕まつりの準備で飾り付けをしました。

# ★東中学校区★

## [令和6年度までの取組]

東中学校区では、夏のいじめのない学校づくり子ども会議で決まった取組について、各校の実践についてオンラインで中間報告会を行いました。小学校ではポスターの作成や全校レク、中学校では「いじめナシの実」の掲示と、それぞれの取組を共有して児童生徒の交流を深めました。特別支援学校との連携においては、東中学校吹奏楽部の演奏発表会や生徒間での交流学習等を行いました。また、中学校区として目指す児童生徒像の具現化に向けて、各校の生徒指導担当が実情を情報交換し、学校のきまりで統一しておきたい内容を確認し、各教科等では小中のつながりをふまえたカリキュラムの作成を進めました。



夏のいじめのない子ども会議で決まった取組の様子について、オンラインで中間報告会を行いました。

## [令和7年度に向けて]

令和7年度は、目指す児童生徒像の具現化に向けて、引き続き特別支援学校とも連携するとともに、小中学校相互の乗り入れ授業を計画的に実施しながら、生徒指導面での連携を一層深めます。そして、小中一貫のカリキュラムに基づく教育活動による児童生徒のウェルビーイングの向上、ならびに地元学の展開について検討していきます。



生徒指導担当が各校の実情を情報交換し、東中学校区として統一していきたい内容について話し合いました。

# ★西中学校区★

## [令和6年度までの取組]

包括的セクシュアリティ教育についてカリキュラムを作成し、主に特別活動、道徳や総合的な学習の時間において実践しました。中学校では生徒会本部を中心に生徒自ら包括的セクシュアリティについて理解を深めるため、朝会で解説や呼びかけをしました。小学校においては動物との触れ合いを通じた授業など、系統的にいのちの授業について取り組みました。いのちを大切にすること、自分や他の人も大切にすることへの理解度が深まり、自尊感情が向上し、明るい学校生活を過ごす児童生徒が増えました。



小中一貫合唱指導

## [令和7年度に向けて]

令和7年度は、今年度行った包括的セクシュアリティ教育をもとに、さらに自尊感情をはぐくむとともに、児童生徒が自ら進んで、行動できることを目指して、3校でカリキュラムを深化させていきます。子供たちが幸せに生きるための教育を各教科、校外学習や体験学習、安全教育、キャリア教育など、あらゆる機会に児童生徒の育成を推進します。



中学生による小学生へのあいさつ運動

# ★勝瀬中学校区★

## [令和6年度までの取組]

勝瀬中学校区では、令和4年度より3年間をかけて小中一貫教育推進の研究を進め、本年度で第1期目のまとめを迎えます。あいさつ運動や合唱交流会、部活動体験などを通じた児童生徒間交流や、小中の先生が7つの研究部（体育・特別活動・生徒指導教育相談・算数数学・特別支援教育・ICT活用・学校保健）に別れて、教科・領域における課題や実践の共有のための情報交換会、全体研修会を定期的に行い、令和7年度にむけて、さらなる連携を目指しています。



中学生と一緒にあいさつ運動を行いました。元気なあいさつの声が響きます。(ふじみ野小)

## [令和7年度に向けて]

第2期目となる令和7年度に向け、第1期の改善点を明確にし、連携内容について各校の教育課程への位置づけ・行事計画の調整を行います。また、現在の取組内容を深めていくために、具体的な取組の重点（あいさつ・交流活動等）を定め、児童生徒が自発的に交流することができる環境づくりに努めます。



小学校のダンスクラブに中学生が参加しました。一緒に踊り、たくさんの笑顔がみられました。(勝瀬小)

# ★水谷中学校区★

## [令和6年度までの取組]

水谷中学校区では、小学校と中学校が隣り合っているという利点を最大限に活かし、小中連携に力を入れています。今年度は、小学校のプールを使用した体育「水泳」の指導をおこなった他、校庭、体育館を借りた部活動の実施など、中学生が小学校に行く機会も多く、小学生が中学生を身近な存在として感じることができた。

また、中1ギャップを軽減するための取り組みとして、中学校の様子を小学校6年生に教えたり、中学校1年生の授業を6年生が見学したりと、様々な交流を積極的に行いました。

## [令和7年度に向けて]

地域のボランティア活動に積極的に生徒が参加することで、地域安全の視点から、学校と地域が一体となった児童生徒の交流の場を増やすことで、児童生徒同士の連携が、さらに強まるような取組を検討していきます。



小学校の図画工作の授業に、はばたき学級の生徒が参加をし、地域の方々とも一緒に陶芸体験をしました。



普通の中学校の授業（1年生）を6年生が見学をしました。